

松江の1日の始まりと我が任務の始まり (就任雑感)

島根県立図書館

館長 森脇 義博

三たび松江の朝を迎えるようになってひと月が過ぎ、同時に初めての経験となる図書館に赴任して同じ日数が過ぎた。また、今まで見たことのない光景を目にするようになってこれもひと月が過ぎた。

その光景とは……。

大橋川の近くに居を構えたこともあって、ここ十数年日課としている早朝のウォーキングでの壮快な光景。我れ先にと漁場に向かうしじみ船の出漁風景である。最近とみに性能を増したと思われる船外機を付けた船が競争のように大橋を潜り抜けて行く。若い漁師の船が老いた漁師の船を追い抜いて行く。軽く手を上げながら…。嵐の時のような波が岸壁に係留中の船を大きく揺らしている。新大橋の上に立って、薄霧の中の朝日の輪郭をバックに、大橋川と剣先川からいっしょになって近づいてくる様は、まさに競艇場そのものである。観光客が湖岸のホテルから眺める鋤簾の柄を肩に担いだのんびりした姿からは想像がつかない。こんな1日の始まりがこの松江にはあったのだと今になって初めて知ったところである。

先日、早速県内のいくつかの図書館を巡回させていただいた。そんな中で心強く思ったのは、比較的新しい図書館に設置されている子ども読書コーナーの「おはなしの部屋」の

存在である。子どもの気が散らないように周りを遮断するようになっている。今、「県立図書館振興計画」の柱のひとつに「子どもの読書普及」を掲げているが、ふと、昔は小学校でも担任の先生が急に授業を休むと、時間の空いた先生によく本を読んでもらったものだとつくづく思ったところである。最近の子どもの活字離れをいかに解消させ、本に興味を持たせる事こそがわれわれ大人の任務でもある。しかるに、市町村合併が終了した今、図書館運営にも当然のように様々な問題が生じてくるだろう。これまで旧市町村単位に何とか身近にあった施設が効率化を理由に整理が進むことも考えられる。言うまでもないが、そこには関係者間でしっかりと検証し、同一行政単位の中でも、それぞれの施設が役割を分担するなど連携しあって業務に当たることこそが課題となる。

今まで知らなかつた松江の1日の始まりがあるなら、この課題に向けた業務は私の未知の図書館業務の始まりでもあるような気がしている。これからよろしくお願ひします。

今、県立図書館は、アスベスト対策工事で、県民の皆さんに大変ご迷惑をおかけしています。お詫び申し上げるとともに、7月下旬の開館に向けて努力していますのでご理解をいただきたいと思います。

県立図書館の市町村協力巡回・一括貸出

県民の皆さんのが本や資料を使いたいとき、身边にあって利用しやすいのは市町村立図書館です。県立図書館では、広く県民の皆さんに図書館サービスを提供していくため、市町村の図書館を巡回し、情報交換や運営相談、貸出図書の配達・回収をする協力巡回事業を実施しています。

また、図書館・公民館・保育所等へ図書の一括貸出も行っていますので、ぜひご利用ください。

平成18年度の市町村立図書館等への主な巡回スケジュール

巡回市町村／巡回月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
安来 松江 出雲 大田 江津 浜田 益田 (年6回)	○		○			○		○		○		○
	○		○			☆		○		☆		○
	○		○		☆			○		☆		○
	○		○			○		○				○
	○		○				○		○		○	
	○		○									
大東 木次 平田 大社 多伎 斐川 仁摩 川本 桜江 邑南 石見 金城 旭 (年5回)	○		○				○		○		○	
		○		☆			○		○		○	
	○	☆			○							
	○			☆		○						
	○			☆	○					☆	○	
		○		☆			○		☆	○		
			○	☆			○		☆		○	
	○		○				○		☆		○	
	☆		○				○		☆			
			○								○	
東出雲 加茂 津和野 日原 吉賀 (年4回)	○		○			○		○				
	○		○			○		○				
		☆			○			○				☆
	☆				○			☆	○			○
佐田 飯南 美都 隠岐の島 (年3回)		○					○					
	○						○					
			☆						○			☆
			○					○				○

☆印は西部読書普及センターからの巡回

平成18年度の市町村への一括貸出

貸出市町村	配本・特別貸出施設（各施設500冊以内、年2～3回入替）
松江市	島根中央公民館、八雲公民館、日吉ふれあい会館、保育所（野波、マリン）ほか
雲南市	公民館（温泉、田井、吉田、掛合等）、小学校（鍋山、掛合等）、幼稚園（三刀屋、加茂）ほか
出雲市	佐田図書館、佐田町子育て支援センター、須佐小学校、窪田小学校
大田市	大田市中央図書館、温泉津図書館
江津市	保育所、児童館、公民館
浜田市	杵束公民館、安城公民館
東出雲町	図書館、出雲郷公民館
奥出雲町	公民館（亀嵩、三沢、布勢、阿井）、小学校（布勢、横田、馬木、島上等）
飯南町	図書館、志々公民館、保育所（桜ヶ丘、さつき）、小学校（頓原、志々、赤名、来島）
美郷町	林業総合センター、邑智会館、都賀保育園ほか
邑南町	羽須美分館、公民館（口羽、日和、日貫、中野、井原、矢上）
津和野町	津和野図書館、日原図書館、日原保育所
吉賀町	図書館、柿木公民館
隠岐の島町	公民館（布施、都万、五箇）、中出張所、保育所（ごか、都万、中村）ほか
海士町	公民館（中央、菱浦、崎、東、知々井）、小学校（福井、海士）、海士中学校
西ノ島町	公民館（中央、黒木）、美田児童館、美田小学校
知夫村	公民館、知夫小学校、郡保育所

このほか、多数の学校・保育所・文庫等に100冊以内3ヶ月間の団体貸出を行っています。

お知らせ

平成18年度子どもの読書活動優秀実践図書館・団体(者)決定

標記について、島根県では「かわもと図書館」と「大東町子ども読書会」（雲南省）が選ばれ、4月23日に文部科学大臣表彰を受けられました。

17年度の統計、活動から

図書館活動を表す指標として、最もよく用いられるのは①貸出冊数です。

17年度、県立図書館では、25万冊以上の貸出冊数で過去最高を記録しました。これは10年前の7年度の数値16万冊と比べて約9万冊増加しています。

県立図書館のサービス対象は島根県民です。来館者だけではなく、各市町村の図書館等施設を通じて、県立図書館の蔵書を利用できます。近年ではインターネットを通じて蔵書検索が可能になったこと、市町村への貸出資料配送システムを整備したことにより、県内各地からの利用が便利になりました。

②協力貸出冊数（県内市町村の図書館や学校図書館等への貸出）がそれを示しています。

7年度、約2千冊だった数値が、17年度は約5千5百冊と、約2.7倍伸びています。

図書館サービスにおいて、貸出とレファレンス（参考調査）は車の両輪にたとえられます。図書館では通読して楽しむ本のほかに、調べ物に適した事典類や図鑑、統計、データベースなどを準備しています。資料に精通した専門の職員が、利用者のあらゆる質問、相談に対応、様々な資料を用いて調査します。（医療相談や宿題の答え等できないものもあります。）③レファレンス件数は近年横ばいですが、高度な内容の質問が増加しています。

6～17年度まで、13年度（約3ヶ月間休館）を除いて、毎年9千件を超えていました。

今回、①貸出冊数、②協力貸出冊数、③レファレンス件数を紹介しました。図書館だより次号で、主な利用統計指標をグラフ付きでお知らせする予定です。

17年度、新たに計画し、好評を得た事業に「図書館探検ツアー」があります。

- ・書庫（約30万冊の図書の他、雑誌・新聞などが収められています。）
- ・館外奉仕室（図書館等市町村との窓口、読書普及、図書館振興の仕事をしています。）
- ・作業室（購入・寄贈された図書、雑誌などを図書館資料にするため、データ入力やラベル貼付、ブックコート装備などの作業を行っています。）

普段お見せすることのないこれらの場所に、利用者の方を案内しました。

18年度も実施予定（子ども版8月頃、大人版10月頃）です。どうぞご参加ください。

平成18年度館内資料展示計画

月	テーマ	内容
8	日本の100選	「名水百選」「日本百名山」など国、自治体、民間団体が後世に残そうと選定した日本全国の自然、文化、観光などを紹介した図書を展示する。
9	身近なスポーツを楽しむ	ラジオ体操、ウォーキング、ランニングなど年齢・体力を問わず健康を保つため、毎日楽しんでできる身近なスポーツを紹介する。
10	薬物乱用の害悪について	未成年の間で拡がっている薬物乱用の現状について、県健康福祉部薬事衛生課の協力により関係資料を展示する。
11	雑誌・新聞にみる島根の戦後復興	戦後4年間のGHQ検閲を受けて出版された雑誌・新聞（プランゲ文庫所蔵・マイクロフィルム版島根県分）を通して島根県の戦後の復興状況を紹介する。
12	モーツアルトの本～生誕250周年によせて～	今年は、クラシックの作曲家の中で最もひろく愛されているモーツアルト生誕250年にあたることから、各年代向けの伝記、作品の解説などを通して、彼の音楽の楽しさを紹介する。
1	日本の「食」を考える	日本の「食」の歴史や、食生活の変化、BSE等現代の「食」に関する問題についての資料を紹介する。
2	小中学生の調べ学習資料展	図書館で、実際に利用されている郷土等についての調べ学習に関する資料を紹介するとともに、有効な図書館利用についても提案する。
3	新しいスタートに臨んで	春は、進学、就職する人をはじめ、多くの人にとって新たな一歩を踏み出す時期である。新生活に役立つ本、応援団になる本などを紹介する。

行事予定

6月

7月下旬まで臨時休館しています。

4 日	5 月	6 火	7 水	8	1 木	2 金	3 土
11	12	13	14	15	16	17	古文書を読む会 近世初期 (県職員会館) 10:00~11:30
18 しまね文学散歩 (県職員会館) 10:00~12:00	19	20	21	22	23	24	お話の会 (県生涯学習推進センター) 13:30~14:30
25	26	27	28	29	30		



7月



2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土
9	10	11	12	13	14	古文書を読む会 近世初期 (県職員会館) 10:00~11:30
16 しまね文学散歩 (県職員会館) 10:00~12:00	17	18	19	20	21	15 古文書を読む会 中世 (県職員会館) 13:30~15:00
23	24	25	26	27	28	お話の会 (県生涯学習推進センター) 13:30~14:30
30	31					

7月下旬に開館予定(開館日は7月にお知らせします。)



休館中(4月~7月)講座会場

出雲國風土記を読む会
古文書を読む会
しまね文学散歩
お話の会

県庁6階講堂
県職員会館1階健康教育室
県職員会館1階健康教育室
生涯学習推進センター

8月からは、県立図書館にて行います。

郷土資料収集のお願い

島根に関する資料(古いものも、新しいものも)を収集・保存しています。
ご寄贈、情報の提供をお願いします。

※図書館ホームページアドレスが4月3日から変わりました。

新ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/toshokan/>

編集発行 島根県立図書館 〒690-0873 松江市内中原町52

TEL 0852-22-5725 FAX 0852-22-5728

発行日 平成18年5月20日